

# 若者から見た ミャンマー



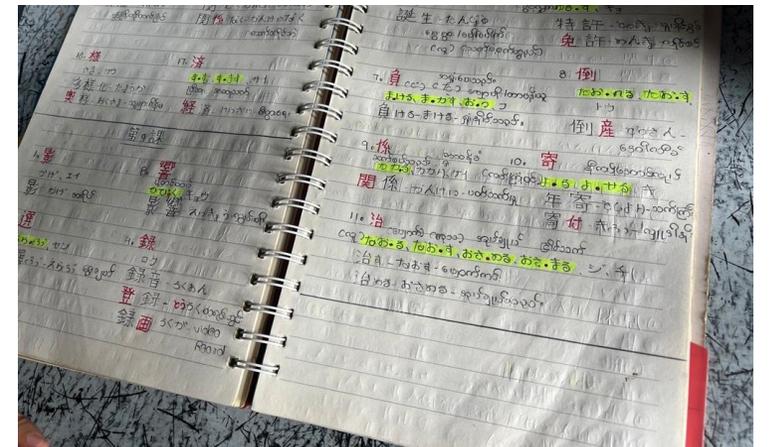
# 送り出し機関への訪問

- 多くの送り出し機関が、「日本式」を短期間で身に付けさせるための訓練センターである。
- これまでの生活様式からは一変し、細かなルールに管理され、生活する。
- ミャンマー人の教師が多いセンターでは、細かい部分で違和感を覚える部分も…
- 教育方針は送り出し機関ごとに全く異なり、ここでの教育は就労後も大きくかかわる。



## 実習生との交流

- 送り出し機関に在籍する技能実習候補生(20歳)や家族と交流した。
- 7月から九州で就労予定。
- 勉強を始めて10か月目だが、会話のレベルは非常に高く、N3を目指している。
- ヤンゴン郊外に住んでおり、日中はセンターで勉強し、夕方以降は近所のお寺や家で自習している。



# 終わりに

- 送り出し機関にいる候補生の年齢層は比較的若く、授業中もかなり真剣に聞いており、意思を持って働きに来てくれる人が多い印象。
- 文法が似ているからか、日本語能力も高い人が多い。
- 働き手として魅力的な人が多い国であり、政情不安もあって日本に希望を抱く人も多い。
- 自分で考えるのが苦手な性格の人が多く印象。他人の意見や周りに流されがち。  
→情報の齟齬による失踪問題などのリスクも。

